

〈令和元年度藤沢市公益的市民活動助成事業〉

団体名	プレイパークもりとかぜ
企画名	プレイパークもりとかぜ組織基盤強化
補助金額	100,000円

企画の目的

プレイパーク（遊び場・居場所）を必要とする人は年齢を問わず多いと考えている。安心してその人らしく、のびのびと過ごせるプレイパークが開催できるように、組織基盤を強化する。

主な内容と成果

・プレイパークの定期開催

少年の森で、毎週1回、定期的にプレイパークを開催し、未就学児と保護者の遊び場、居場所となった。子どもが思い切り遊べる場が減る中で、木工や焚火など、思い切り遊べる機会を提供。夏休みには小屋づくりイベントも開催した。毎回約20人の参加があった。

定期開催のほかにも、ロープワーク講座やリスクハザード（遊びの中の危険）やリスクマネジメントに関する勉強会を開催した。

3月の新型コロナウイルス感染の影響による学校の休校期間では、感染防止に気を付けながら、多くの小中学生とその保護者の遊び場、学びの場、居場所として機能することができた。

・広報

活動周知のため、プレイパークをPRするチラシを作成・配布した。

・スキルアップ

プレイパークを運営するにあたり、スタッフのスキル向上のため、外部研修に参加した。



屋外で伸び伸びと子ども達が遊ぶプレイパークを定期的で開催した（写真右・中央）。

活動を周知するため、手書きのかわいらしいチラシも作成（写真右）。

反省点・課題など

・スタッフ確保の難しさ。親として感じていることから始めた活動だったが、子をもつ親はみな忙しく、活動するスタッフの確保が難しかった。

・広報の難しさ。同じ思いを持つ親とその子どもたちへの広報活動をする時間と人員を十分に確保できず、毎週の活動を続けることが精いっぱいという現状があった。